

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議出欠状況及び審議結果一覧（1月～4月会議）

区分	主な内容及び件名	月日	出席者数	賛成	反対	議決結果	森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子	高橋たい子
本会議	補正予算	1.9	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	補正予算	1.28	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町政報告、施政方針、人事案件、議案説明	3.2	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	3.3	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	3.4	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問、議案質疑（条例、契約、補正予算等）	3.5	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度予算上程、総括質疑	3.6	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度予算採決、追加議案、意見書案	3.17	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	4.1	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

審議結果	議案番号	月日	出席者数	賛成	反対	議決結果	森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子	高橋たい子	
審議結果	議案第60号	1.9	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	議案第61号～62号	1.28	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	陳情第6号	3.2	18	2	15	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	○	
	議案第70号	3.2	18	17	0	選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第71号	3.2	18	14	3	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第72号～第88号	3.5	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第89号～91号	3.17	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第1号	3.17	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第1号	4.1	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また、「-」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

議案等の内容（令和元年度柴田町議会1月会議）	議案等の内容（令和元年度柴田町議会3月会議）
議案第60号 令和元年度柴田町一般会計補正予算 ・ふるさと柴田応援推進事業の増額補正。3億4,841万3千円の増。	議案第78号 令和元年度柴田町地域福祉センター空調機器設備災害復旧工事請負契約 ・台風19号で被害にあった空調機器の復旧工事。
議案等の内容（令和元年度柴田町議会1月第2回会議）	議案第79号 令和元年度柴田小学校大規模改造工事（建築工事）請負契約 議案第80号 令和元年度西住小学校大規模改造工事（建築工事）請負契約
議案第61号 令和元年度柴田町一般会計補正予算 ・ふるさと柴田応援推進事業、台風19号による災害等廃棄物処理費用、学校施設大規模改造工事、小学校プール耐震補強工事を追加する増額補正。13億245万円の増。	議案第81号 令和元年度船迫中学校大規模改造工事（建築工事）請負契約 ・老朽化に伴う大規模改造工事
議案第62号 令和元年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算 ・鷺沼排水区雨水整備事業の委託料及び工事請負費の補正。5億4,600万円の増。	議案第82号 平成30年度柴田町・大河原町公共下水道事業鷺沼排水区5号調整池整備工事請負変更契約 ・工事の一部に変更が生じたため、契約の変更を行うもの。
議案等の内容（令和元年度柴田町議会3月会議）	議案第83号 令和元年度柴田町一般会計補正予算 14ページに掲載 議案第84号 令和元年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算 議案第85号 令和元年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算 議案第86号 令和元年度柴田町介護保険特別会計補正予算 議案第87号 令和元年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算
陳情第6号 柴田町第30行政区の防災等に関する陳情書 15ページに掲載	議案第88号 令和元年度柴田町水道事業会計補正予算 ・受託工事費及び人件費の減。
議案第70号 固定資産評価審査委員の選任 15ページに掲載	議案第89号 元都災第15003号都市公園災害復旧工事（葛岡山公園）請負契約 ・昨年の台風19号での被災箇所の災害復旧工事
議案第71号 柴田町行政区長会条例 15ページに掲載	議案第90号 令和元年度柴田町・大河原町公共下水道事業鷺沼排水区5号調整池整備工事請負契約 ・鷺沼排水区域の浸水被害を解消するための公共下水道雨水事業。
議案第72号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 ・会計年度任用職員制度の創設に伴い、関係条例の整備を行うもの。	議案第91号 令和元年度柴田町一般会計補正予算 14ページに掲載
議案第73号 柴田町長等の給与及び旅費支給条例の一部改正 ・国の人事院勧告を踏まえ、町長、副町長、教育長の期末勤労手当の支給率を引き上げるもの。	議案第1号 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 ・国の人事院勧告を踏まえ、議会議員の期末手当の支給率を引き上げるもの。
議案第74号 柴田町交通指導隊条例及び柴田町防犯実働隊条例の一部改正 14ページに掲載	議案等の内容（令和2年度柴田町議会4月会議）
議案第75号 柴田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 ・「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」の施行に伴い、関係条項の整備を行うもの。	議案第1号 令和2年度柴田町一般会計補正予算 ・児童手当に係るマイナンバー情報連携体制整備のためのシステム改修費や埋蔵文化財発掘調査受託事業費などを補正計上するもの。9,916万5千円の増で補正後の予算総額は132億7,916万5千円。
議案第76号 柴田町非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正 14ページに掲載	
議案第77号 指定管理者の指定（柴田町地域活動支援センター） ・柴田町地域活動支援センター「しらすぎ」及び「もみのき」について、施設管理の業務を柴田町社会福祉協議会に行わせるもの。	

町政へのあなたの思い

質問 質問 質問 質問 質問 質問 ママタ!

【目次】

ページ	質問者（登壇順）	質問項目
17	吉田 和夫	教職員にも防災士養成を働きかけては
18	平間奈緒美	地域別に防災ワークショップ開催を
	舟山 彰	町営住宅の保証人の見直しを
19	加藤 滋	高齢者への健康づくりの取り組みは
	斎藤 義勝	ふるさと納税制度の災害時対応策は
20	森 淑子	パートナーシップ制度導入を
	秋本 好則	古河水門に須川前樋管のような設備が必要では
21	安部 俊三	みやぎ県南中核病院への町の考え、対応は
	桜場 政行	ひとり親家庭に対する養育費の確保支援を
22	安藤 義憲	町道本船迫 12 号線の開通の見通しは
	佐々木裕子	しばた千桜橋高架下へのトイレ設置の進捗状況は
23	白内恵美子	後世に残すため台風 19 号被災の記録集の発行を
	森 裕樹	ネーミングライツの導入を
24	平間 幸弘	町道富沢 16 号線整備事業の進捗は
	有賀 光子	産後ケア事業の推進を
25	広沢 真	ウイルスパンデミック時の町の対応は
	水戸 義裕	災害廃棄物処理計画の策定は

※掲載できなかつた質問は 26 ページに掲載しています。

一般質問は、3月3日から5日までの3日間で行われ、17人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、ダイジェスト版でお知らせします。詳しくは、QRコードから一般質問の録画映像をご覧ください。



吉田和夫 議員

Q 教職員にも防災士養成を働きかけては



A 防災主幹教諭などに呼びかけ養成を図る

家族で確認 防災マップ



問 防災士や防災指導員を活用し、防災マップの説明ができないか。

町長 まずは、町民に防災マップの活用を働きかけるため、自主防災組織で実施する防災訓練や、婦人防火クラブなどへの出前講座で説明する。

問 消防団、婦人防火クラブ、教職員にも防災士養成を働きかけては。

町長 消防団や婦人防火クラブ、また小中学校の防災主幹教諭や防災主任教諭にも呼びかけ、養

成を図っていく。

問 避難所での運営訓練を実施しては。

町長 町の避難所運営の考え方として、一時的に開設する一次避難所の場合は、役場職員が中心となり地域住民の協力を得ながら運営していく。長期避難所の場合は、地域住民が中心となり運営することが理想的だと考える。今後、自主防災組織から、避難所の運営訓練を実施したいとの要請があれば、町として支援

していく。

問 避難所での連絡体制、非常用電源、Wi-Fi 設備などの環境を整備しては。

町長 避難所間の連絡は、電話や防災行政無線で行う。非常用電源は、太陽光発電蓄電設備や発電機、照明器を配備し、停電に備えている。

現時点での Wi-Fi の導入は時期尚早と思っている。



平間奈緒美 議員

Q 地域別に
防災ワークショップ
開催を

A 自主防災組織連絡協議会
設立後、提案していく



関心の高かった住民懇談会

問 先日、台風19号をメ
インにした住民懇談
会が行われた。住民懇談
会を踏まえて今後の主な
対策は。

町長 ハード整備として、
国や県に対し古河水
門への機関場の設置、河
川のしゅんせつや樹木の
伐採など既に要望してい
る。阿武隈川の河道掘削
については、阿武隈川緊
急治水対策プロジェクト
での実施が決定した。町
の緊急水害対策は、新年
度予算での大型排水ポン

プ車の購入や仙南中央病
院付近の常設の排水ポン
プ設置を行うほか、西船
迫一丁目など、局地的に
冠水するところは現地調
査を実施し、水路などの
しゅんせつを行う。また、
水防災意識の向上による
今後の水害対策は、公共
下水道雨水管理方針、柴
田町国土強靱化計画、柴
田町水防災意識向上マ
ニュアルを作成する。情
報の伝達は、防災行政無
線のデジタル化や声かけ
ネットワークの構築、F

M岩沼との災害協定の締
結を行う。さらに消防団
の組織や装備の強化や人
材の育成に関しては、防
災指導員の育成強化など
を令和2年度当初予算に
おける最重要政策として
いる。

問 地域別に防災ワー
クショップを開催して
はどうか。

町長 自主防災組織連絡協
議会ができれば、早
速提案していく。

朝日新聞に次のような
記事が載っていた。「公
営住宅保証人不要の動
き」、「低所得者らに割安
な家賃で提供する公営住
宅で、入居の条件として
きた保証人確保の規定を
廃止する自治体が相次い
でいる。住まいの安全網
の最後のとりでといわれ
ながら、保証人確保が壁
になって住宅弱者が入居
できない事例が後を絶た
ないためだ。朝日新聞の
調べでは、8都県と13政
令指定都市が既に廃止を

決め、今後も増える見通
し」とあった。そこで何う
か。

問 現在、町営住宅に關
する保証人はどう
なっているのか。

町長 入居予定者は、2人
の連帯保証人を立て
なければならぬ。その
保証人は原則として町内
に居住し、独立の生計を
営む人になる。

問 希望者が保証人を確
保できず入居を拒ま
れたり、諦めたりした事
例はあるのか。

町長 入居を拒んだりする
対応はしていない。
また、入居を諦めたとの
話も聞いていない。

問 別の緩和策を模索す
る自治体は、人数を
1人に減らす（長崎県）、
保証人の県内在住の条件
を外す（山梨県など。本
町も住宅弱者が増えてい
ると思われるが、これら
の措置を考へては。

町長 連帯保証人は、原則
として当面これまで
どおりの運用を行ってい
く。

Q 町営住宅の保証人の
見直しを

A 当面これまでどおりの
運用を行っていく



舟山 彰 議員



完成した北船岡町営住宅5号棟

一般質問



加藤 滋 議員

Q 高齢者への健康づくりの取り組みは

A 各種健康審査、健康教室や健康まつりを実施



問 高齢者の社会参加や健康づくりの取り組みは。

町長 老人クラブの社会奉仕活動の他、シルバ一人材センターでは284人が会員登録し、技能分野や事務分野で活躍している。健康づくりの取り組みは、町民の健康寿命を延ばすため、疾病予防と早期発見に向けた各種健康診査、健康の保持・増進に向けた健康教室や健康まつりを実施している。



空いている時間で学校支援をしませんか

町長 仙台大学と連携し、元気はつらつお達者dayと称して、脳トレや健康講話の事業をしている。また、社会福祉協議会の健康マージャンに参加している男性を対象に、筋肉量や脂肪量の測定と体操による健康運動事業を実施している。

問 高齢者の社会参加活動は、生涯学習とつながるのでは。

生涯学習課長 サークル活動、生涯学習センターでの教室講座などいろいろな形態がある。また、学校支

援活動として、しばたっ子応援団では、高齢者が生きがいづくりなどとして、子どもたちを地域で支える活動をしている。

問 しばたっ子応援団のボランティア内容は。

生涯学習課長 小学1年生の給食指導サポート、本の読み聞かせなど。また、槻木小学校6年生が、しばた100選を巡って学習し、30秒のCMを作成するサポートをした。

Q ふるさと納税制度の災害時対応策は



斎藤義勝 議員

A 代理自治体制度を含め検討する



今年度のふるさと納税の見込み額は、約7億円となっている。一部に新聞紙上をにぎわすような問題はあるが、多くの市町村が高還元率ではない裾野を広げた取り組みを行い、新たな競争が始まっている。本町もある程度毎年見込める財源として位置づけ、さまざまな施策を打つべきである。

問 ふるさと納税事業は、本町のPRが特に重要と思うが、今年度の成果と来年度の見通しは。

町長 昨年12月の読売新聞首都圏版などに掲載し、問い合わせも多く効果があった。来年度も首都圏を中心にPRに努める。

問 寄附金額の内訳では、「自治体にお任せ」が多いが、この納税は特性上固定経費には充当できない。町を4ブロック(槻木・船岡・船迫・町全体)に分けて地域に特化した事業を行うのが有効手段と思うが。

町長 すべて新規事業に充てられるなら良いが、町は学校整備に相当なお金を一般財源から投入している。学校の大規模改造、エアコン、洋式トイレ、LED、プールなどがある。その財源として使用し、その分、別な事業の一般財源が不足するのでそれを補っていきたいと思っている。

まちづくり政策課長

問 ふるさと納税で災害時に対応できる代理自治体を検討すべきでは。災害に係る代理自治体を含め検討する。



新たな返礼品が加わりました



森 淑子 議員

Q パートナーシップ
制度導入を

A 取り組みの一つとして
検討する余地はある



LGBTって知ってますか

問 性的マイノリティに
関する調査によると、
約11人に1人の割合で、
※LGBTに該当する人
がいると言われている。

小中学校で、性の多様性
について学ぶ機会はある
か。

教育長 小学校では人権教室
や保健体育の授業で、
思春期の体と心の変化を
学ぶ際に性の多様性に触
れながら相手を思いやる
心情を育んでいる。中学
校では公民分野で学んで
おり、人権作文を書かせ
る際にも性の多様性に触

問 カミングアウトして
いる生徒はいるか。

教育長 学校から相談は受け
ていない。各小中学
校では、性の多様性に係
る悩みを持つ児童生徒が
いる場合には、子どもた
ちや保護者が悩みを一人
で抱え込まないように担
任や養護教諭、スクール
カウンセラーなどとサ
ポート体制を整えている。

問 生きづらさをなくす
ためには、どうい
う環境が必要と考えるか。

※ LGBT=自分の性に違和感を覚
える人などの性的少数者。

問 パートナーシップ制
度導入を考えては。

町長 多様な性のあり方に
ついて理解を深めて
いく。第4次男女共同参
画プランは令和2年度ま
でなので、次のプランの
ときに取り組みの一つと
して検討していく余地は
あるかと思う。

教育長 LGBTは8割いる
というデータを、教
員はしっかり周知して接
していくことが非常に大
事になる。

問 必要な機材は常備す
べき。排水ポンプな
どの常備体制は。

町長 大雨対策で37基のポ
ンプを設置しており、
他に7基のポンプと発電
機を常備している。

問 船岡字関地区の遊水
池機能の維持が、浸
水対策に必要では。

町長 農地法上、町は農地
を取得できない。
利用を限ることで機
能維持はできないか。

農政課長 地上権や使用貸借、
地役権などがあるが、

所有者の意見を伺わない
段階で論じるのは難しい。

問 北船岡地区では局地
冠水対策をしたが、
再び水害を繰り返した。
今後の防災への対応は。

都市建設課長 地区外排水路と槻木
用水路があるので、
一番低いところに強制排
水ポンプを設置したい。

問 古河水門付近の水害
は河川幅に比して水
門が狭く、ボトルネック
の形状が渦の原因では。

都市建設課長 形状はボトルネック
形状だったが、渦を巻

いていたか確認できない。
問 次年度予算で購入す
る大口径のポンプは、
古河水門付近に設置する
のか。

都市建設課長 西住地区への設置が
可能性大。そちらの
手配が完了すれば福祉セ
ンターの方へ設置する。

問 古河水門に須川前樋
管のような設備が必
要では。

都市建設課長 それが理想なので、
現在、大河原土木事
務所と協議している。

Q 古河水門に
須川前樋管のような
設備が必要では



秋本好則 議員



A 理想形なので
大河原土木事務所と協議中



須川前樋管と排水ピット

一般質問



安部俊三 議員

Q みやぎ県南中核病院への町の考え、対応は

A 現時点で病院機能の分化は、やむを得ない



10月から分娩休止へ

問 町は、みやぎ県南中核病院の現状をどのように把握しているのか。また、課題、問題にどう対応していくのか。

町長 経営は、仙南医療圏の人口減少と高齢者数の増加などにより、大変厳しくなっている。また、看護職を初め医療従事者の確保が喫緊の課題と捉えている。

医療機能の分化が、県と東北大学の方針として公表された。また、地域医療構想の実現に向けた重点支援区域に全国で5カ所が選定され、その中に仙南が入っている。これにより、中核病院と刈田総合病院の役割を重点化する。診療の効率化を図る方向性が確定するとしている。現在、データ分析を踏まえ、今後、両病院のあるべき姿や経営改善効果を盛り込む具体的プランを策定中

である。仙南地域の医療提携体制について話し合いを進めていくが、現時点で、病院機能の分化は、やむを得ないと考える。

問 産婦人科分娩休止について、回避する手立てはないのか。

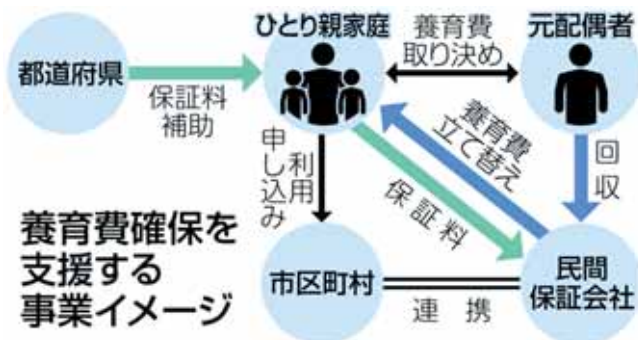
町長 産科医不足で、分娩施設の限定と医師の集約化など複雑であり、短時間での解決は難しい。今後、安心して子どもを産むことのできる医療提供体制の維持、充実に向け努力していきたい。



桜場政行 議員

Q ひとり親家庭に対する養育費の確保支援を

A 先進自治体の状況を見ながら調査検討していく



問 本町で養育費を受け取っている世帯は、児童扶養手当の状況で、申し出があった数値では365人中96人、26・3%となっている。

問 養育費を受け取っている世帯が極めて低い状況を、どのように捉えているか。

町長 養育費は、子どもを監護、教育するための必要な経費であり、子どもの成長を支えるために、同居していない親が自分と同じ水準の生活を

保障するという強い義務であることを考えれば、多い割合ではない。

問 養育費の確保に向けた具体的施策の第一歩として、公文書などの作成に係る費用への助成制度を創設できないか。

町長 養育費については町に相談があった場合は、一般的にはリーフレットなどにより紹介している。公正文書などの作成費用の助成については、先進自治体の動向を見ながら、今後調査検討する。

問 養育費の保証促進補助金交付事業の導入に向けた取り組みを提案するが、町の見解は。

町長 養育費の取り組みを公正証書などに記載し作成していることを前提に、養育費の保証を行う民間の保証会社と契約を結ぶことで保証が受けられるサービスがある。このサービスが利用できれば、経済的な支えになる取り組みであるが、先進地自治体の状況を見ながら調査検討していく。



安藤義憲 議員

町道本船迫12号線の
開通見通しは

復旧工事の実施に向け
準備している



一日も早い復旧を

問 台風19号後の道路の復旧状況は。

町長 道路は48件被災し、町単独での復旧箇所は41件である。被災直後より早期復旧に向け対応しており、すでに15件、37件は復旧を終えている。

問 町道本船迫12号線の開通見通しは。

町長 国の災害査定が終了し、現在、災害復旧工事の実施に向けて準備を進めている。

問 その復旧工事の実施予定と開通の目的は。

都市建設課長 関係機関との協議のあと工事に着手する。ゴールデンウィーク頃には終わらせるような段取りを進める。

問 復旧工事に当たり、反対側斜面の道路のガードレール設置は考えているのか。

都市建設課長 約12区間で一度撤去し改めて敷設する。

問 西船迫6号公園前の道路の地盤沈下の修繕計画は。

都市建設課長 道路の高さや地下埋設物の調査終了後、地区住民や区長に報告す

問 地盤沈下を止め、地区住民が安心して生活できる対策をとつてもらいたい。

都市建設課長 今回の地盤に対して、どのような工夫で雨水の排水ができるのか、また、強制排水ポンプ施設が必要になるかなど、調査結果次第によって明らかになる。状況把握後次の段階でどういうものができるか提示できたらと考えている。

問 しばた千桜橋高架下へのトイレ設置について、進捗状況を問う。

町長 本年度予算の中で、公園施設整備実施設計を業者に委託し、トイレの規模や形状機能の検討を行っている。また、令和2年度当初予算に、トイレ設置工事費の予算を計上している。

問 トイレの便器数は。

都市建設課長 男性用は小2、大1、女性用は大2。数はもっと増やせないのか。

都市建設課長 通年観光では、十分な数字と思う。桜まつりの時は、機能分担型のトイレのように、千桜公園に例えば授乳室やおむつ交換の場所を別に設ける、あるいはトイレの数を増やすなどを考えている。

問 体の不自由な方のトイレは、どのように考えているか。

都市建設課長 身障者用ではなく、役場一階トイレのように、脇に立ちやすく座りやすいよう、手すりも設置し対応したいと考えている。

問 千桜橋高架下になるのと、県道からトイレの出入りが丸見えになると思うが、目隠しは考えているのか。

都市建設課長 景観に配慮したいので、目隠しは設置する。歩道の側まで前面がくると思われ、二通り検討している。薄いパネルか何かで塞ぐか、植栽が良いのか迷う。

しばた千桜橋高架下への
トイレ設置の進捗状況は



佐々木裕子 議員

当初予算に
トイレ設置工事費を計上



イメージ図

一般質問



白内恵美子 議員

Q 後世に残すため 台風19号被災の 記録集の発行を

A 行政内部で活用できる資料集を
作成する



土砂の堆積した白石川

問 町内の河道掘削の計画は。

町長 阿武隈川は、槻木大橋付近の掘削を3月末完了を目処に進めること。白石川は、令和2年2月から支障木の伐採を含め着手している。

問 被害のあった地域からの要望書の有無と主な内容・回答は。

町長 2件あった。内容は古河水門への排水機場の整備や強制排水施設の設定、槻木旧水路の点検や側溝の泥上げ、駐

車場の確保、局地的な冠水対策などだった。排水機場の設置を国や県に要望、大型排水ポンプ車購入や常設ポンプ設置、西船迫一丁目冠水地区に道路や雨水管の状況調査費を計上すると回答した。

問 車の避難場所に学校の校庭の活用を。

町長 雨の降り方によって、浸水もあることを念頭に置いての避難場所となる。

問 車の避難場所を使用できる公園を、周知

徹底すべきでは。

都市建設課長 区長会などできつかりと周知する。

問 台風19号被災の記録集の発行を。

総務課副参事 被害概要と災害対策本部の対応、映像を保存し行政資料とする。

問 そこに被災地域の活動や被災者の声・写真が入れば、後世に残せる記録集となるのでは。

総務課副参事 記録集は作らず、内部資料を一冊にまとめたものとし、要望があれば提供する。

近年、公共施設の老朽化が問題になってきている。多くの自治体では、景気停滞及び脆弱な財政下の新たな収入源の確保が課題となっている。税金を上げることによる苦勞の中で、施設の名称を企業などに売却して資金を得る、民間資金活用策の※ネーミングライツがある。今後、町だけで施設の維持管理費を負担することは現状では厳しいと思われる。安心して利用できる施設とするため

にも、しっかりとした維持管理が必要だと考える。ネーミングライツでは、スポンサーとなる企業は地域貢献と宣伝効果が生じ、施設利用者は整備が行き届いた施設を利用でき、行政は財政的な施設管理の負担軽減となり、まさに「三方よし」である。

町長 公共施設の老朽化に伴い、施設に係る維持管理費の増加が課題となっている。新たな財源確保が期待できることから導入に向け検討する。ネーミングライツの募集要件などを検討し、早急に財政に貢献できるよう考える。

※ネーミングライツは公共施設等に名称を付与する権利（命名権）及びこれに付帯する諸権利等

Q ネーミングライツの 導入を



森 裕樹 議員



A 導入に向け、検討する



しばた千桜橋も対象に



平間幸弘 議員

Q 町道富沢16号線
整備事業の進捗は

A 令和元年度末で
全体事業の84%になる



完成まであと1歩・2歩？

問 現在、一部に側溝が整備されているが、電柱の移設はまだ行われていない。また、土盛り部分は雨が降ると水たまりができ、通行に注意が必要な状況である。そこで、現在の進捗状況や、今後の事業計画について町の考えを伺う。

町長 平成22年度から事業に着手し、早期完成を目指してきた。しかし年々、交付金額が要望額に対して縮小傾向にあり令和元年度の交付金の配分率は要望額に対し22%と、依然低い状況にある。現在の進捗率は、令和元年度末で、84%となる見込み。また、交付金の配分率や町の財政状況を踏まえ、交付額にあわせて施工手順で実施しているため、完成の時期や支障電柱の移設は現段階では明確に言えない。早期の完成が図られるよう、県や国に強く要望していく。

問 待避所は、年に数回砂利の敷きならしなどを行っているが、さらに回数を増やし、見回りの強化と、メンテナンスの回数を増やすことは可能か。

都市建設課長 回数を増やすことはやぶさかではない。ただし、1月から3月は直営のグレーダーが除雪機装備になっており、その場合は業者に依頼している。それ以外の期間では回数を増やして対応する。



有賀光子 議員

Q 産後ケア事業の
推進を



A 産婦健診を委託できる
見通しとなった



産後ケアで不安解消

問 産後ケア事業は母子保健法上、市町村の母子保健施策の一環として明確に位置づけられた。産後ケア事業の法制化によって、どのような政策効果が期待できるか、見解を伺う。

町長 産後ケア事業の補助要件に、産婦健診の実施がある。これまで妊婦健診のように県内統一の委託事業で実施されていない。今年、秋ごろから県内産科医療機関に産婦健診を委託できる見通しとなった。

問 産婦健診は県内一律に実施していくと考えるいいのか。

健康推進課長 県と医師会で協議し、秋から県内一律に実施できる見通しになった。

問 産婦健診の時期は、10月以降になると思う。

健康推進課長 産婦健診が県内で実施されると、産後ケア事業は、今後実施しやすくなるのか。

健康推進課長 国の補助金である産婦健康診査事業助成金を受ける場合、国の補助金を受ける場合、産後ケアも同時に実施しなければ補助の要件にはならない。産婦健診が県内一律で妊婦健診のように行える委託先があれば、産後ケアは実施しやすい。

問 令和元年の出生数は、前年比では何人か。

健康推進課長 平成30年261人、令和元年223人で、38人少なくなった。

一般質問



広沢 真 議員

Q ウイルス パンデミック時の 町の対応は



A 情報収集に努め、
最新の情報を提供していく



今がガマンのとき

問 感染者発見時の情報共有は。

町長 一般医療機関では検査ができず、行政検査のみになっている。県の電話相談窓口への相談で対応するため、外来の病院名などは公表されない。

問 県内の検査、受診、隔離の体制は。

町長 県保健環境センターや仙台市衛生研究所で検査し、感染している場合には県内7カ所などの指定医療機関に入院することになる。

問 経済活動に影響が出た場合の対応は。

町長 海外からの観光客が激減している。企業への影響としては、生産拠点となっている中国の工場の操業再開に時間がかかることもあり、部品の調達が滞るなど、生産をストップする事態となっている。国や県が責任を持って支援策を講じる必要がある。

問 ※パンデミックが起った時、役場の中で感染者が出た時に体制を維持、対策を打つこと

※パンデミックある病気(感染症)が世界中で流行すること

についての想定は。

健康推進課長 町では、以前の新型コロナウイルスインフルエンザ流行の時に対策のBCP(事業継続計画)を作っている。25名の職員が出勤できなくなった2週間から2カ月を想定して業務の取捨選択をするものだが、今回、このBCPをベースに、コロナウイルスに

応用できるように、対策本部で準備を進めている。



水戸義裕 議員

Q 災害廃棄物 処理計画の 策定は



A 環境省事業メニューに
応募し計画する



分別に苦労した災害ゴミ

問 昨年の台風19号では、被害の範囲が広く災害廃棄物もかなりの量になった。災害廃棄物の保管場所や仮置き場の計画はあるのか。

町民環境課長 地域防災計画は、処理の形で載っているが、具体的な計画はまだ策定していない。

問 県では、災害廃棄物処理計画を平成29年8月に作成した。県が主導するようにと環境省からの指導があるが、町では作成する予定があるか。

町民環境課長 計画を策定していない。仙南2市7町と仙南広域事務組合で環境省事業メニューに応募し、処理計画の基礎を作る予定である。ある程度データを作り、それに基づいて自治体が計画することになる。

問 策定するときには、担当課長や職員が集まるのか、または、委託するのか、または、委託するのか。

町民環境課長 町で持っているデータ、ハザードマップなどを業者に提供し、作成してもらうことになる。

問 「台風19号災害の常任委員会調査報告等に係る今後の対応について」では、今後の対応策として、各家庭からの災害ごみの搬出方法を、行政区や地域住民と協議するとあるが、どのようにするのか。

町民環境課長 高齢化社会になり、自分だけで災害ゴミを搬出できない方がどんどん増えていく。地域の中で話し合い、考えなければいけないと思う。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

吉田和夫 議員

- 問 本町の感染症対策は万全か。
- 答 感染予防チラシを全戸配布し、ホームページで最新情報を随時周知する。

平間奈緒美 議員

- 問 庁舎内にフォトブースの設置を。
- 答 花のまち柴田を庁舎内からも発信できるよう、フォトブース設置に向けて検討していく。
- 問 (仮称) 総合体育館建設に向けて、PFI手法による事業の推進を検討していくべきでは。
- 答 令和3年度に建設手法検討委員会を設置して検討していく。

舟山 彰 議員

- 問 行政区長の身分や役割が今年春から大きく変わる。区長制度をどうするのか。
- 答 新たな条例により設けられた執行機関へ助言を行う特別職非常勤職員となる。
- 問 台風19号で大きな被害を受けたが、さらなる防災対策をどう進めるのか。
- 答 地区防災計画策定に向けた機運の醸成に努めていく。

加藤 滋 議員

- 問 去年の千葉県の強風被害を教訓として、今後の大型台風による強風被害に備える対策を。
- 答 町道では特に3路線(西船迫・船岡南・東船岡駅前)で、樹木剪定を実施している。

森 淑子 議員

- 問 高齢者の財産を守るための施策は。
- 答 社会福祉士の相談員を配置し、相談体制の整備と市民後見人制度の推進を図る。

秋本好則 議員

- 問 柴田町全体の使用電力料金は46億円以上。役場で電力の一般競争入札を行わない理由は。
- 答 契約方法の見直しは、他の自治体の動向も注視し、概ね3年後を目途に実施する。

桜場政行 議員

- 問 動物愛護団体の方を町に紹介したが、その後、どのような連携をしているか。
- 答 今後、連携するとともに、*TNR活動を参考に、共通の理解をもって対応していく。

佐々木裕子 議員

- 問 下水道使用料賦課漏れの徴収状況は。
- 答 平成30年12月時点での納入合計額は662万3,715円で、納入率は72.77%となる。

白内恵美子 議員

- 問 遺族が行う行政への死亡手続きの負担を軽減するため、おくやみコーナーの設置を。
- 答 おくやみコーナーと同等の役割を各課職員が担い、遺族の手続きの支援を行っていく。

平間幸弘 議員

- 問 台風19号の被害で、用排水施設やため池、農道など、生産者は復旧の進捗が気になるが。
- 答 ため池や用排水路の一部は、令和2年度内の完成を予定している。

有賀光子 議員

- 問 産前、産後の子育てを切れ目なく応援することを目的としている産後ドゥーラの推進を。
- 答 町では産前産後の子育て支援対策として、育児ヘルプサービス支援事業に取り組んでいる。

広沢 真 議員

- 問 障害者医療費助成を現物給付にして、受診手続きを簡略化できないか。
- 答 実施する場合、宮城県医師会の協力も必要なことから、県主導で進めるよう要請していく。

水戸義裕 議員

- 問 台風19号災害時の職員の残業時間は。
- 答 11月まででは、1人平均44時間の残業となっている。
- 問 災害図上訓練は、住民に広げるため、町がまずやるとの考えはないのか。
- 答 自主防災組織にも働きかけながら、町でも今後検討していく。

*TNR活動=『捕獲・不妊去勢手術・テリトリーに戻す』活動で、飼い主のいない猫に対し無料で不妊去勢手術をおこなう活動。

総務

町の防災対策は

■調査内容

- ①デマンド型乗合タクシーについて
- ②地域づくり交付金について
- ③町の防災対策について

■調査結果

《まちづくり政策課》

○デマンド型乗合タクシーについては、より効果的な運営を図るため、将来の展望を見据えながら取り組んでいくこと。

○地域づくり交付金の使い道を確認し、実績報告書などの審査を厳格にすること。

《総務課》

○台風19号の被害を受け、町の方針を計画的に推進すること。



常任委員会レポート

各常任委員会では、法令に基づき各課の仕事を調査しています。

●総務常任委員会

令和2年1月20日～21日

●文教厚生常任委員会

令和2年1月9日～10日

●産業建設常任委員会

令和2年1月14日～15日



産建

台風19号被害箇所の 現地調査

■調査内容

- ①台風19号被害箇所（船岡城址公園）の現地調査
- ②一般懇談会での意見・要望などについての現地調査

■調査結果

《都市建設課》

○都市公園災害復旧工事（船岡城址公園）のL型擁壁工については、既存の擁壁の安全にも十分考慮し施工すること。

○都市災害復旧工事（船岡城址公園）は、工事車両の移動と観光客の動きが重ならないよう配慮すること。



文教

町内中学校の 管理・運営は

■調査内容

- ①運動・スポーツ習慣化促進事業について
- ②町内中学校の管理・運営状況について

■調査結果

《スポーツ振興課》

○健康タウンしばたプロジェクト+2019は、運動するきっかけづくりとなっていることから、次年度も継続されたい。

《教育総務課》

○普通学級においても支援が必要な生徒が多いことから、特別支援学級数の増加など、各学校の実情に応じて、特別支援教育支援員を加配すること。



あなたの一言



ひろさか 美佐子 さん
(上川名在住)

●柴田町に住んで感じたことは？

5年前に、私たち夫婦は福島県、娘夫婦は多賀城市から同居を機に柴田町にまいりました。身内や知人はおらず不安でしたが、地域の方々に温かく迎えていただきました。自然豊かで孫たちが地域の方々に見守られてのびのびと成長している姿を見ると、柴田町に来て良かったと実感しています。

を感じられる、孫との大好きな散歩コースです。

●柴田町に一言！

災害、命にかかわる（感染等）情報について、迅速な伝達と対応をお願いします。

●議会、議員に一言！

※議会改革度ランキング東北1位の柴田町議会。更なる活性化を期待しています。

●柴田町の好きなところは？

「花のまち」一目千本桜は圧巻です。また、地区には、小高い丘に上川名貝塚があり、春は桜、白木連、水仙の花、夏は螢、秋は田んぼに黄金色の稲穂、冬は蔵王山の雪景色と四季



■議会より一言

議会改革に終わりはないですが、今後7町民に寄り添った活動を続けてまいります。

未来へ向けて

※2018早稲田大学マニフェスト研究所ランキング東北6県の町村で1位

「広報委員会もマスク着用」



議会だより編集作業も、密閉空間、密集場所、密接場面の3密にならないように、間隔をあけながら行いました。一日も早い終息を願っています。

◆編集後記◆

今年最大のイベント「東京2020オリンピック・パラリンピック」が1年延期となりました。新型コロナウイルスの感染拡大です。

4月1日、WHOは数日以内に感染者は100万人に達するだろうとの見解を示しました。世界中の人たちの健康への不安や、世界経済に及ぼす影響は図り知れません。ゴーストタウン化したニューヨーク市街地の様子は、だれが想像したでしょうか。国内でも、東京や大阪などは感染拡大警戒地域として専門家が警告しています。すぐにでも、緊急事態宣言が出されたいと思うと……。

毎朝、新聞を読むことが日課となっています。せめて明るい話題をと、紙面を探しながらの1日のスタートです。
(加藤 滋)

- 議会広報常任委員会
- | | | | |
|------|------|----|-------|
| 委員長 | 森 淑子 | 委員 | 安藤 義憲 |
| 副委員長 | 加藤 滋 | 委員 | 平間 幸弘 |
| 委員 | 森 裕樹 | 委員 | 吉田 和夫 |
| | | 委員 | 平間奈緒美 |

6月会議の予定

6月会議は
6月8日(月) 午前9時30分開会予定
一般質問は
6月9日(火)・10日(水)・11日(木)の予定
※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

議会ネット中継

- 議会生中継・録画放映をインターネット配信中！
- 一般質問などの内容をQRコードから見るができます。



柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより168号は、約16,200部作成しています。1部当たりの経費は約48.36円です。